

平成 31 年 3 月 22 日

保護者の皆様へ

神奈川県立川崎高等学校  
校長 平松 和夫

## 生徒による授業評価（第 2 回）集計結果のご報告

今年度の第 2 回「生徒による授業評価」を 1 月に実施しました。その一部をご報告させていただきます。

今回の結果から、全体として、前期における実技中心の科目については、生徒はきちんと準備をして授業に臨んでいるものの、講義中心の科目では、必ずしも授業中の活動にあまり積極的でない様子が見られます。引き続き各教科において、課題の解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。また、授業の予習・復習の習慣をつけることが意欲・理解を育むための大切な要素だと考えております。ぜひ、ご家庭での声かけ励ましをお願いいたします。

この結果を活かして、より良い授業を目指して今後も取り組んで参ります。

### [質問項目]

- 質問 1 教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
- 質問 2 私は、授業で学習した内容がだいたい理解できている。
- 質問 3 生徒の理解度に合わせて、授業が進められている。
- 質問 4 授業中、生徒同士で話し合う機会や意見を発表する機会がある。
- 質問 5 説明の仕方がていねいで、分かりやすい授業である。
- 質問 6 生徒 1 人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。
- 質問 7 私は、授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして分かろうと努力している。
- 質問 8 私は、授業に対して意欲的に取り組んでいる。

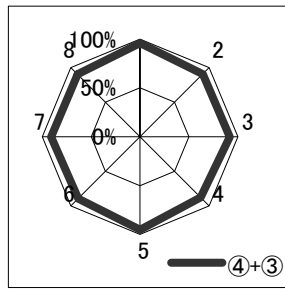
### [回答]

④かなり当てはまる ③ほぼ当てはまる ②あまり当てはまらない ①ほとんど当てはまらない

全日

現代文

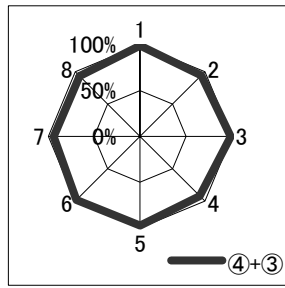
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	128	142	10	2	96%
2	111	145	22	4	91%
3	110	149	21	2	92%
4	123	124	30	5	88%
5	134	134	12	2	95%
6	113	139	27	3	89%
7	112	144	18	7	91%
8	130	124	22	5	90%



全体的に高い評価を得ることができた。多くの項目で90%を超えていることから分かるように、一人ひとりの状況に合わせて丁寧な指導ができています。項目4が全体で見ると少し低いため、生徒同士が話し合ったり意見を発表する機会をこれまで以上に増やしていきたい。

古典

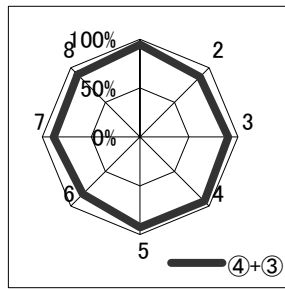
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	49	53	1	0	99%
2	35	62	6	0	94%
3	37	65	1	0	99%
4	32	62	6	2	92%
5	47	53	3	0	97%
6	43	58	2	0	98%
7	38	59	5	1	94%
8	48	48	7	0	93%



全体的に高い評価を得ることができた。昨年度は項目4の評価が他と比べてやや低い結果だったが、改善の傾向が見られる。生徒が積極的に学ぶことができるような授業内の工夫を更に研究することで、よりわかりやすい授業を目指したい。

コミュニケーション英語I

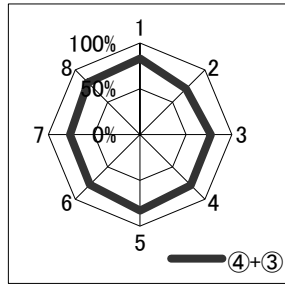
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	104	97	11	1	94%
2	85	100	22	6	87%
3	91	101	20	1	90%
4	112	86	12	3	93%
5	98	99	14	2	92%
6	75	101	35	2	83%
7	89	99	22	3	88%
8	100	92	18	3	90%



全体的に高い評価を得ていると思われるが、「授業の内容が理解できている」という項目と「生徒1人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている」という項目での評価が他の項目よりも低かった。入学時点で学力差がある程度ついてしまっている科目なので、英語が不得意な生徒への対応が課題として残された。

コミュニケーション英語II

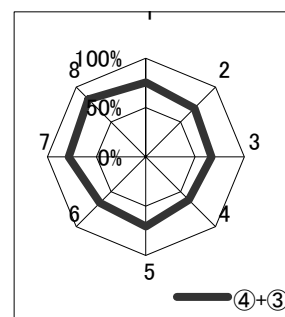
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	37	65	15	6	83%
2	27	60	28	8	71%
3	36	59	21	7	77%
4	36	60	20	7	78%
5	34	68	15	6	83%
6	32	63	20	8	77%
7	30	64	23	6	76%
8	36	63	18	6	80%



教材の工夫については評価が高かったが、内容の理解と自分で調べたりする機会について他の評価よりも数値が低かった。説明の仕方を工夫したり、グループワーク等をより多く取り入れていきたい。

数学I

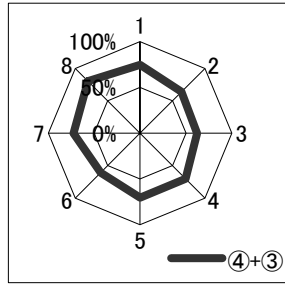
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	39	79	34	4	76%
2	42	67	38	9	70%
3	40	64	49	3	67%
4	42	54	52	8	62%
5	44	66	45	1	71%
6	40	63	51	2	66%
7	51	71	31	3	78%
8	57	72	24	3	83%



全体で7割程度の評価を得ている。数学Iの内容をもれなく実施するために、一定程度のスピードを要することになる。そのため、他教科に比べて評価が低くなったと考えられる。理解とスピードを調整しながら、授業を進めていく。

生物基礎

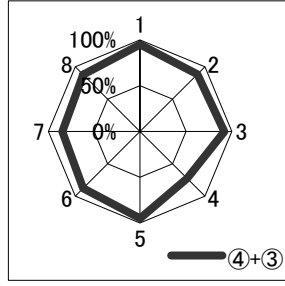
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	34	69	28	7	75%
2	25	63	36	14	64%
3	24	62	45	7	62%
4	33	64	34	7	70%
5	27	70	32	9	70%
6	29	55	44	10	61%
7	32	68	36	2	72%
8	39	72	24	3	80%



進学を意識した生徒層にあわせて、難易度を上げて授業を実施したため、全体的に低調な評価であると考えられる。生徒の平均的な理解力よりも、少し難解な問題も取り入れつつも、投げ出さず取り組めるような工夫の必要性も強く感じている。

世界史A

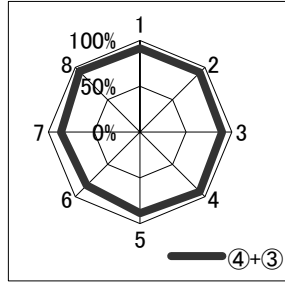
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	93	86	6	4	95%
2	55	112	19	3	88%
3	69	105	12	3	92%
4	53	84	43	9	72%
5	95	84	6	4	95%
6	57	109	16	7	88%
7	58	102	22	7	85%
8	73	93	21	2	88%



生徒による話し合い・発表の機会が少ないことが昨年度の授業評価と比較すると、低く評価されている。他者の意見を聞き、自分の意見について考察することは、より深い学びへとつながるため、授業の方法や授業の構成について、担当教員間で話し合うなどの改善が必要である。

現代社会

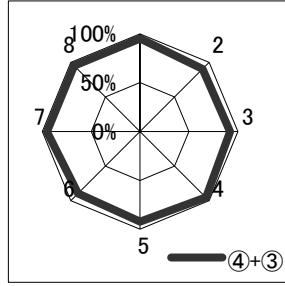
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	111	82	16	2	91%
2	84	110	14	3	92%
3	94	95	18	4	90%
4	119	75	15	2	92%
5	108	79	16	8	89%
6	77	97	31	6	82%
7	87	95	23	6	86%
8	103	94	13	1	93%



昨年度に比べ、「説明が丁寧で分かりやすい授業である」という項目で、評価が低くなっているため、生徒の興味関心を引くような授業の導入など、工夫や改善の余地があるので、担当教員間で共有し、取り組んでいきたい。

社会と情報

	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	65	56	4	2	95%
2	59	56	11	1	91%
3	54	63	8	2	92%
4	73	48	4	2	95%
5	67	50	8	2	92%
6	61	53	10	3	90%
7	65	56	4	2	95%
8	68	53	5	1	95%

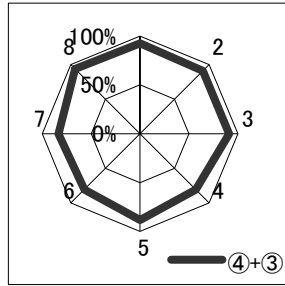


全体的に高い評価であるが、「理解度」と「きめ細かい指導」の項目が若干低い傾向にあるので、生徒一人ひとりに目を配り、生徒の理解度やコンピュータ操作につまずいていないかを常に確認しながら授業転換することを心がけていく。

全日

家庭基礎

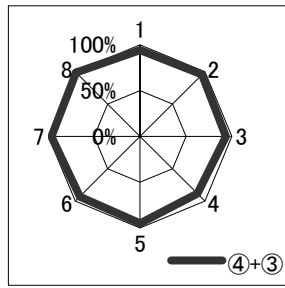
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	31	31	5	0	93%
2	25	36	6	0	91%
3	27	34	5	1	91%
4	27	27	11	2	81%
5	30	29	7	1	88%
6	22	32	12	1	81%
7	21	35	11	0	84%
8	29	34	4	0	94%



概ね高い評価を得ることができた。授業に意欲的に取り組んでいると回答する生徒も多かったからであると考え。項目4の評価が低かったため、残り少ない授業の中で話し合う機会やグループワークの時間を設けようと思う。

体育

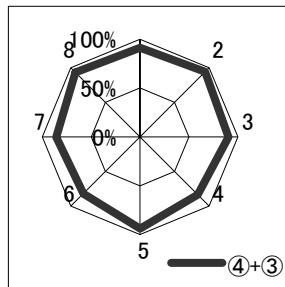
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	75	70	8	1	94%
2	72	75	6	1	95%
3	77	67	9	1	94%
4	74	62	15	3	88%
5	84	62	7	1	95%
6	74	69	10	1	93%
7	81	68	4	1	97%
8	93	59	1	1	99%



体育では、どの項目においても評価が高く、生徒の授業に対する関心・意欲が高いことがわかる。今後も生徒の自主性を重んじ、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、健康・安全を確保しつつ生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てていきたい。

保健

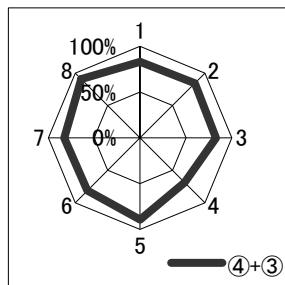
	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	96	91	15	3	91%
2	99	93	12	0	94%
3	88	98	18	2	90%
4	91	79	24	10	83%
5	101	90	10	3	94%
6	74	96	29	8	82%
7	77	102	23	7	86%
8	99	91	12	1	94%



項目4について、積極的にグループ学習等を取り入れ、生徒が主体的に取り組むことのできる授業を目指した成果があったと思われるが、他の項目と比べると低いので、次年度へ向けて、生徒が自らの学習について、更に主体的に学びを深めることができるように、生徒の興味・関心や実態に合わせた授業を目指していく。

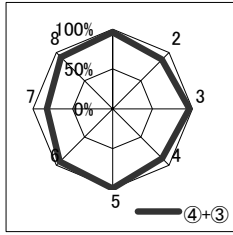
美術I

	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)+(3)
1	23	30	10	1	83%
2	27	27	8	2	84%
3	27	26	9	2	83%
4	19	25	11	9	69%
5	25	32	5	2	89%
6	30	22	10	2	81%
7	27	26	10	1	83%
8	31	27	5	1	91%



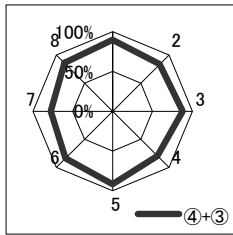
項目4のが69%と低い結果が出ている、授業内では生徒同士で作品に評価をする時間があるが、意見交換として捉えられていないようなので、発表の方法を検討すると共に、意見を伝えるための場所であることが分かるような工夫を考えていく必要がある。

国語総合					
	④	③	②	①	④+③
1	33	16	2	0	96.1%
2	20	22	6	0	87.5%
3	12	14	1	0	96.3%
4	21	22	5	1	87.8%
5	15	21	0	0	100.0%
6	32	13	3	0	93.8%
7	21	17	6	2	82.6%
8	27	19	4	0	92.0%



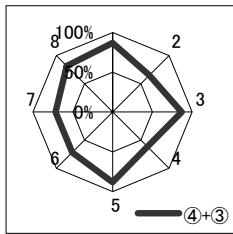
教材の工夫は評価されたが、理解や定着まで到達できたと感じている生徒が少し低い結果となった。一層のきめ細かい指導を目指したい。理解できるという体験から、わからないことを自主的に解決していこうという気持ちを喚起できるよう、生徒の主体的な学びを引き出していきたい。

現代社会					
	④	③	②	①	④+③
1	20	24	3	2	89.8%
2	17	24	5	3	83.7%
3	18	25	4	2	87.8%
4	17	22	8	2	79.6%
5	21	24	2	2	91.8%
6	18	23	6	2	83.7%
7	13	25	8	3	77.6%
8	17	25	4	3	85.7%



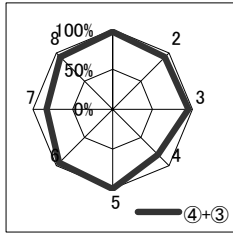
すべての項目で高い評価を得ることができた。前回調査の課題であった、第4項目「生徒同士で話し合ったり発表する機会があるか」については、大幅に改善することができた。これは、「問い」の設定に工夫を加えた結果だと考えられる。引き続き、生徒が主体的に考えられる「問い」を中心とした授業を展開していきたい。

数学Ⅰ					
	④	③	②	①	④+③
1	25	27	5	3	86.7%
2	15	24	17	4	65.0%
3	21	31	7	1	86.7%
4	16	21	10	13	61.7%
5	26	27	7	0	88.3%
6	21	22	15	2	71.7%
7	17	26	11	6	71.7%
8	19	30	7	4	81.7%



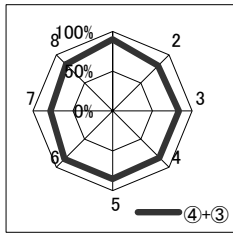
中学の頃から苦手になっている生徒が多い教科であり、多くの項目において③が最も多い。全員が④を選ぶような工夫をし、授業を更に改善していきたい。また、【項目4】は低いが、教科の特性上難しい点もあるが、机間指導や丁寧な説明を心掛け、質問など個別指導の時間をもっと増やすように取り組んでいく。また、楽しく興味を持てるような教材を用意したい。

生物基礎					
	④	③	②	①	④+③
1	22	18	1	0	97.6%
2	22	16	3	0	92.7%
3	21	18	2	0	95.1%
4	15	18	8	0	80.5%
5	30	11	0	0	100.0%
6	26	13	2	0	95.1%
7	22	12	7	0	82.9%
8	27	11	3	0	92.7%



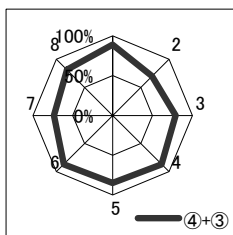
前期より④の割合が増えた。生徒の満足度をより高めるために、次年度は話し合いやグループワーク、基礎学力向上を積極的に取り入れることを計画している。次年度以降も更に実験や演示、画像や動画を増やし、全員にとって分かりやすく楽しい授業を目指していく。

保健					
	④	③	②	①	④+③
1	19	18	4	0	90.2%
2	16	17	8	0	80.5%
3	16	18	6	1	82.9%
4	18	16	7	0	82.9%
5	21	14	6	0	85.4%
6	18	17	5	1	85.4%
7	15	17	9	0	78.0%
8	19	15	7	0	82.9%



前期と比較すると項目4の評価が高くなっている。自分の生活習慣や健康について考えて発言させる機会や他者の意見を聞く機会を設けたことが評価につながったと思われる。項目7は低くなっているので健康に関心が持てるように知識をつけ、実際に行動できるように指導していきたい。そのために共通プリントの改善やグループワークなど授業を楽しめる工夫を継続して続けていきたい。

コミュニケーション英語Ⅰ					
	④	③	②	①	④+③
1	24	23	5	1	88.7%
2	19	18	13	3	69.8%
3	20	22	9	2	79.2%
4	22	24	4	3	86.8%
5	24	21	7	1	84.9%
6	25	21	5	2	86.8%
7	20	19	12	2	73.6%
8	24	19	8	2	81.1%



前期と比較すると全体的に評価は上昇した。特に①と⑧の項目が上昇したが、基礎的な英文法のテキストを用いつつ、中学校の既習事項の復習をした上で教科書の内容に入っていきなど、生徒の実態に合わせた指導を進めた結果であると思われる。一方で、他教科に比べてまだまだ全体的に低い評価であるので、さらに個に応じた指導を進めていきたい。